

平成 25 年度第 2 回出雲市入札制度等監視委員会

議事概要（ホームページ公表用）

開催日及び場所	平成 25 年 11 月 21 日（木）15 時 00 分～17 時 00 分 出雲市役所 5 階 入札室	
委員	委員長 河原 莊一郎（松江工業高等専門学校教授） 委員 野村 泰弘（島根大学大学院法務研究科教授） 周藤 滋（弁護士） 秦 久光（出雲市自治会連合会会長） 横田 笑子（税理士）	
審議対象期間	平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日	
報告事項	（1）入札方式別発注工事の状況について （2）指名停止の運用状況について （3）低入札価格調査制度の運用状況について （4）苦情処理の運用状況について （5）その他	
審議事項	抽出案件（4 件）	
	一般競争入札	1.（仮称）斐川中央工業団地造成工事
	一般競争入札（簡易型）	2. 四絡コミュニティセンター建築工事
	一般競争入札（簡易型）	3. 四絡コミュニティセンター機械設備工事
	一般競争入札（簡易型）	4. 四絡コミュニティセンター電気設備工事
	備 考	
	抽出の考え方 （抽出担当：周藤委員） ・今回は次の観点から抽出した。 ①今まで抽出していない部署を優先的に抽出した。 ②契約額が大きいこと。 ③4 つ目の案件は応札者が 15 者あり理由を訊ねたい。 ④従来 3 件抽出してきたが、2～4 の案件は関連ということで抽出した。 ⑤入札方式がそれぞれ一般競争入札の通常型と簡易型で行われている点に注目した。	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意 見・質 問	
	別紙のとおり	回 答 別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	なし	

【報告事項について】	
(1) 入札方式別発注工事の状況について	
(2) 指名停止の運用状況について	
(3) 低入札価格調査制度の運用状況について	
意見・質問	回 答
① 一般管理費というのはどういう費用か。	① 主に会社役員の給与であるとか手当であるとか、あるいは会社そのものの儲けなどを想定した費目である。
② ぎりぎりNGということか。	② そのとおり
③ 8ページの一般管理費が基準を満たしていることの説明を求める。	③ 設計金額の30%が判断基準の金額である。その額に対し応札額が超えているのでOKである。
④ 8ページと9ページとも一般管理費の判断基準比率が30%となっているがOKとNGになっていることの説明を。	④ 30%は市が積算した金額の30%を満たさなければならないという意味の30%である。D欄とA欄との比較で判定している。
⑤ 一般管理費はなぜ30%なのか。市が独自に設定したものか、全国的なものか。	⑤ 国土交通省が定めたものである。それを県も市も使っている。調査基準価格については、出雲市も55%にしたが、数値的判断基準は30%である。
⑥ 言葉を変えていうと安価に落札できないということか。	⑦ 公共工事は、質が問われるものであり、あまりにも安価であれば、質が悪くなるため、評価点を分析して定められたものである。
⑧ 項目ごとにNGが出れば、トータルが基準内であってもだめなのか。	⑨ 不可である。粗悪工事を防ぐためにも適正価格があり、基準となる率が定められている。
⑩ 判断基準比率は、入札者は知っているのか。	⑩ 公表している。
⑪ 公表されているのであれば、僅かの差というのは計算間違いか。	⑪ 設計額を知らせてはいないため。
⑫ 非公開と同じであり、これは良い制度なのか疑問。	—
⑬ 役員給与を抑えてはいけないということになったのか。	⑬ 一般管理費は役員給与だけではない。会社の経営に関わることで、それ以下になると会社の経営もできないという基準である。
(4) 苦情処理の運用状況について	

【審議事項について】

1) (仮称) 斐川中央工業団地造成工事

意見・質問	回 答
① 1億5千万円以上はすべてJVでないといけないのか。単独ではいけないのか。	① 出雲市建築工事に係る共同体の取扱要綱により金額を定めており、土木工事が1億5千万円以上、建築工事は2億円以上、設備工事は1億円以上はJVで行うよう定めている。 JVを3社で行うと3社が受注できる。ひとつの施策のもとで行っている。さらに大きい金額では、準市内業者も含めている。
② JVの場合に、契約金額をどのように分配するかは当事者にまかされているのか。	② 行政は関与できないが、JVのなかもお互いに契約を交わして行うので、恐らく出資に応じた分配がなされていると思う。
③ 支払いはどこか代表へ一括か。	③ そのとおり。出資比率も代表のところは高くないといけない。
④ 斐川中央工業団地は、この工事で全て完了か。	④ 開発は、南側の山林も含めて開発計画の許可を受けている。南部分は今回の造成完成後に経済動向を見ながら着手する予定。着工が決定しているのは今回の5ヘクタールである。
⑤ 調整池はこの1箇所か。	⑤ 調整池の容量については、南側の造成完了を見据えた容量としており、この1箇所で賄う。
⑥ 盛り土をして半年～1年おくということであるが、ボーリングなども行うのか。	⑥ 昨年度実施設計（測量調査設計）を行い、ボーリング調査を数地点行っている。その結果、軟弱層があることが判明した。対策としてその部分について全面地盤改良を行うか、期間が必要となるがサーチャージ盛土により圧力沈下を凶るか、効果と事業費について比較検討した。地盤改良は高額（今回設計より1億円以上必要）となるため、地盤改良は最小限の部分に留め、期間かかってもサーチャージ盛土により沈下をはかる。盛土の量、高さも調査結果に基づき設計した。
⑦ このあたりは地震は少ないものの、地震で液状化現象も懸念されるため、その対策も考えてあるのか。	⑦ 地震時に液状化、地盤の沈下がないように軟弱部分の地盤を改良、固める施工を行うもので、売却の際には企業からも厳しくいわれるのでしっかりとした造成を行う設計となっている。

<p>⑧万が一のことがあれば市が補償するのか。分譲地の契約内容によると思うが。</p>	<p>⑧土地売買契約の内容によるが、明らかな瑕疵があればそういうことも考えられるかもしれない。</p>
<p>⑨隠れているので、あっても隠れた瑕疵である。土壌改良の方が高額ということであったが、より堅固であれば、土壌改良の選択もあり得る。(先々の心配、杞憂かもしれないが。)</p>	<p>—</p>
<p>⑩ J Vの落札率は一般に高いのか。</p>	<p>⑩ J Vは確かに高い。</p>
<p>⑪サーチャージ盛土は地盤改良工にあたるのか。</p>	<p>⑪現況の地盤に盛土して、重しを載せて沈下させる工法と、柱状改良(セメントを攪拌しながら土の中にセメントの柱を造るような工法)の2つの工法で行った。</p>
<p>⑫サーチャージ盛土は予定の高さよりも多めに盛って、あとでいらぬものを取り除くということか。</p>	<p>⑫そのとおり</p>
<p>⑬入札は電子入札か。立会人に関する事項に、「紙入札により代理人が入札書を提出する場合は」と書いてあるが。</p> <p>電子入札が基本ということか。</p>	<p>⑬電子入札。通信回線の不具合など、自己の責任ではなく入札に参加できない場合がある。その場合紙入札となるので代理人の場合は委任状を提出するようということ。</p> <p>原則、電子入札である。プロバイダーの責任などで入札できないときなど、紙入札で対応。</p>
<p>⑭ J Vはいつも特定の業者が中心になるということはないのか。</p>	<p>⑭ない。組み方によって変わる。</p>
<p>⑮上半期で一番金額が大きい工事であるが、落札率もかなり高い。大きな工事ほど落札率が高くなる傾向との説明であったが、過去にも高い落札率であったのか。</p>	<p>⑮ J Vの場合、以前から高い。</p>

2) 四絡コミュニティセンター建築工事	
意見・質問	回 答
①入札を1工事として行うことは可能か。3つに分けた理由は。	①それぞれの工事が一定額を超える場合は分離発注するというルールがある。(受注機会を増やすため)
②設計は1社で行ったのか。	②設計も建築設計と設備設計に分けて2社で行っている。
③市内にはコミュニティセンターがたくさんあるが、もっと古いものもあると思うが優先順位は決まっているのか。	③建替え整備の優先順位としては、今決まっているのは、四絡の次は、高松を計画している。一番古い施設は、大社。築100年近く経っているが、建替える計画はない。近い将来に耐震診断を行い結果をみながらリフレッシュの計画を検討する予定であるが時期は未定。
④地元からの要望も大きいのか。	④建替える施設については、要望陳情をいただいて実施しているケースが多い。
⑤早くしてもらうには、地元の対応にもいろいろなパターンがあるか。	⑤地元が中心になって期成同盟会などを立ちあげられ、地元から盛り上げていただくことはどの地区でもある。
⑥入札参加資格で代表者、構成員は65点未満を除くとなっているが、先ほどは70点未満を除くであった。工事の内容によって違うのか、通常型と一般型の違いか。	⑥出雲市の共通的なルールは65点以上。一般競争入札は1件審査であり、審査会において、工事の内容によって点数を変える場合がある。
⑦支払い条件で、中間前払いと部分払いの違いは何か。 何度でも請求できるのか。	⑦中間前払いは契約額の20%で工事の半分以上が出来ていることを確認して支払う。部分払いは実際の工事の出来高を確認して、その出来高の90%を支払うもの。 金額によって異なる。部分払いは、5,000万円~1億円は1回、1億円を超えると2回。中間前払いは1回。
⑧入札書比較価格が、その2は設計額と同額、その1は設計額と少し異なっている。どういう違いがあるのか。	⑧入札書比較価格は基本的には設計額と同額。ただし、端数を切り捨てる。
⑨3番目の入札価格は、設計額を超えているがいけないのか。	⑨予定価格はオーバーしているが、無効や失格の扱いはない。

3) 四絡コミュニティセンター機械設備工事	
意見・質問	回 答
<p>①建物の設計と設備の設計は分かれているのか。</p> <p>金額的な基準があるか。</p>	<p>①建築工事の設計と設備工事の設計は大きい工事の場合は分離発注。設備設計の業者が機械設備と電気設備の両方設計している。工事発注は分けている。</p> <p>設計を分けて行うかどうかにも基準がある。一定以上の大きい工事は実施設計も高くなるので分けている。小さな工事は分けずに1本で行う。</p>
<p>②管工事ということで冷暖房衛生設備工事だが、配管工事だけなのか、冷暖房器具以外の工事なのか。</p> <p>エアコン本体は入っているのか。</p>	<p>②衛生器具設備、給水、排水の配管、消火設備、給湯や換気設備を含んでいる。</p> <p>入っている。</p> <p>空調設備は電気式だけでなくガスなど様々である。通常は電気工事には入れないというのが通常の発注の仕方。エアコンは冷媒配管があり、これは電気の部類の工事ではなく空調設備に含めている。</p>
<p>③給湯はガスか。</p>	<p>③そのとおり。</p>
4) 四絡コミュニティセンター電気設備工事	
意見・質問	回 答
<p>①応札者が多いが、落札率も高い。電気関係はこういう落札か。</p> <p>何かの機会に他市の状況を聞いておいてほしい。</p>	<p>①今回は3000万円以上の工事であり、準市内業者も参加できる。大きな工事は稀であるため、各社がこの工事を落札したいということの結果ではないか。</p> <p>落札率については、他の工種と比較して高い。</p> <p>—</p>

<p>② 74 ページの入札結果をみると設計額ぎりぎりの数字が並んでいる。設計額が読めるのではないかと予想される。</p> <p>希望価格の率は決まっているのか。</p>	<p>出雲市は予定価格の代わりに希望価格として提示。この価格から逆算するとある程度はわかる可能性あり。</p> <p>希望価格も落札額高騰の原因になる可能性があることから今後入札制度検討委員会に諮って今後どうするか決めたい。</p> <p>ある程度の基準がある。</p>
<p>③ エレベーターはどうか。</p>	<p>建築工事で発注。</p>
<p>④ 太陽光発電は計画されていないか。</p>	<p>計画なし。</p>
<p>⑤ バリアフリーの考えは。</p>	<p>市の条例により、エレベーターを設置。段差がないようにしている。入口を車いすが通れる幅にするなど当然行っている。</p>
<p>⑥ 照明はLEDか。</p>	<p>建物の外側など、比較的交換が難しい部分において採用。内側にはLEDは使用していない。</p>